

高美小学校内 TM だより

R8.7.2.NO.12

4年2組の国語の授業におじゃましました。

★単元のゴールを意識した導入★

授業のはじめには、単元のゴールである「自分で新聞を書くこと」が確認されていました。毎時間確認がされているようで、子どもたちからは、「はやく書きたい!」という声が聞かれました。長岡先生が「そのために何をやるの?」と問いかけると、「説明文を読んで書き方を勉強する!」と答える姿が見られました。学習の目的が子どもたちと共有されており、単元全体の見通しをもちながら学習に向かっている様子がうかがえました。

★考えを整理しながら読む工夫★

全文が文字起こしされたプリントが用意されていました。また「説明文の家」というワークシートを活用し、説明文の構成や、段落ごとの内容を整理する活動を行っていました。途中には、近くの友だちと考えを交流する時間が設定されていました。「自分と同じだな」「ここは少し違うな」と比較しながら、自分の考えを見直す様子が見られました。友だちと交流することが、考えを整理したり、ふりかえったりするきっかけになっているようでした。

★交流を通して深める学び★

一文要約を考える場面では、「一人でできる人は一人でしてみよう。難しい人は、友だちに助けてって言うてもいいよ」と声をかけられていました。発表では、「そうだね」「完べき」「教科書の言葉が使えているね」と認めながら進められていました。また、できた子から発表することで、まだ考えている子が友だちの考えを参考にすることができていました。自分の書いた文章と見比べながら「あー、なるほど」と考え直す姿も見られました。友だちの考えを参考にしながら、自分の考えをよりよいものにしていく姿が見られました。

★これまでの学習とつなげる★

授業の後半には、「中」の書かれ方について考える活動がありました。これまで学習してきた説明文と今回の文章を比較する中で、「今回はAとBを比べている」という気づきが出されました。そこで、「対比」という新しい言葉が紹介されていました。新しく学んだことを覚えるだけでなく、これまでの説明文と照らし合わせながら考えることで、既習事項とのつながりを意識している様子が見られました。終末のふりかえりでは「R80」が示され、1ページ以上書く子もいました。

～まとめ～

単元のゴールを子どもたちと共有し、毎時間その目的を意識しながら学習を進める授業でした。友だちとの交流を通して自分の考えを見直したり、これまで学習した説明文と比較したりすることで、子どもたちは学びをつなげながら理解を深めていました。また、終末のふりかえりでは、自分の学びを整理し、次の学習につなげようとする姿も見られました。長岡先生、4年2組のみなさん、ありがとうございました。

